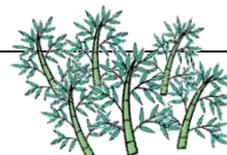


群竹



梅雨入りです。5月末から先週にかけては、最高気温が30℃以上を記録する日があるなど、暑い日が続きましたが、今週は一転して気温が下がり、最高気温が20℃を下回る日もありました。

衣替えとなり多くの生徒が夏型の体育着で登校しておりますが、体調を崩すことはないか心配です。これからは熱中症が心配な時期ではありますが、制服での登校が原則であることを踏まえ、気象情報を確認し、気温に応じた服装で登校するようご家庭でもご留意願います。



写真は今週のプール清掃の様子です。
来週(6/15)はプール開きの予定です。

◇栃木県春季体育大会もがんばりました

先週末、県春季体育大会が県内各地で開催され、陸上競技部、男子バレーボール部、剣道部、男女卓球部、女子ソフトテニス部の皆さんが出場しました。

【県大会入賞者の結果紹介】

〈陸上競技部 6月3日(金) 栃木市総合運動公園陸上競技場〉

○共通女子 4×100mR

4位 □□□□・□□□□・□□□□・□□□□

○共通女子 200m 4位 □□□□

○1年男子 100m 3位 □□□□

○1年男子 走幅跳 5位 □□□□



☆他に県大会に出場した部の皆さんも全力を尽くしてがんばりました。

保護者の皆様には遠方までの選手の送迎等で大変お世話になりました。

◇Society5.0の社会 ※校長講話から

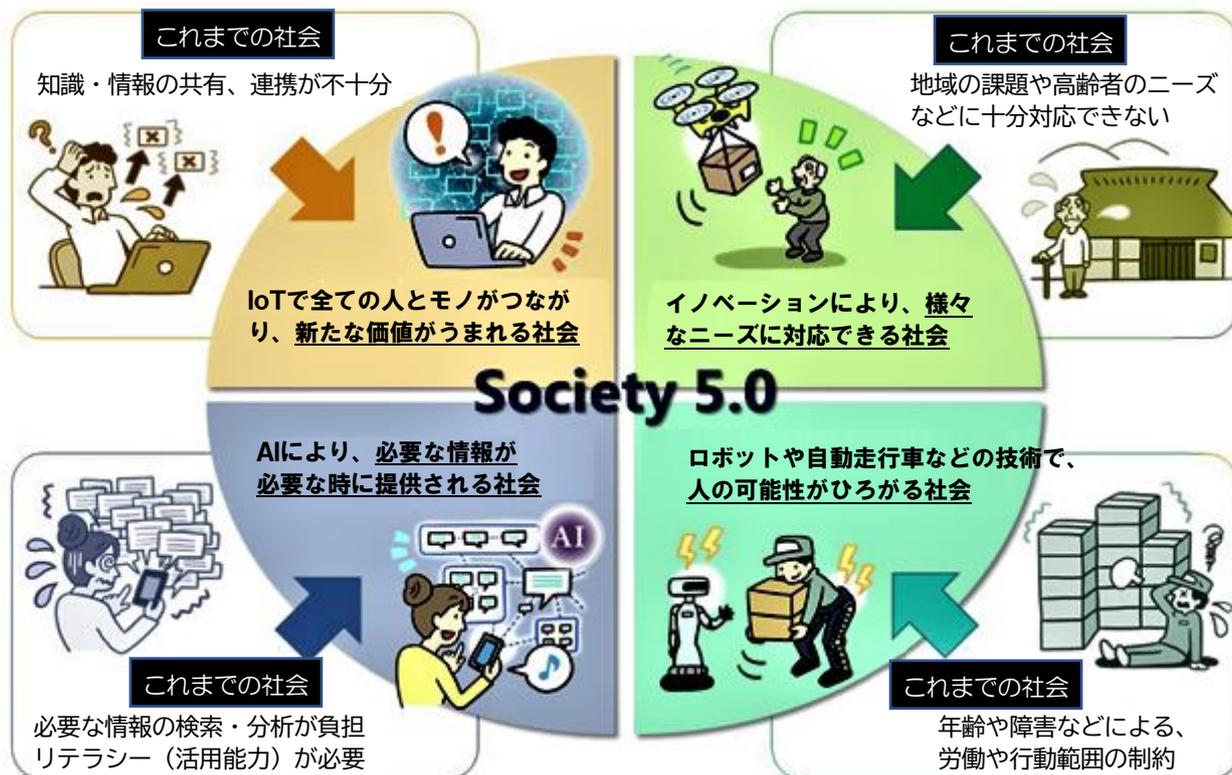
6月8日(水)の全校朝会は校長講話、少々難しい内容でしたが「Society5.0の社会」の話題から、これからの社会を担う生徒たちに身に付けてほしい資質や能力について講話をしました。

「Society5.0の社会」は、サイバー空間(インターネット上の仮想空間)

とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する社会（Society）のことで。

狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、政府の「第5期科学技術基本計画」において日本が目指すべき未来社会の姿として提唱されたものです。

難しい内容ですが、具体的には下の図（内閣府作成）のような社会です。



この「Society 5.0 の社会」を担う今の生徒たちに求められることは、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることです。

特に重要なことは、多様な人々との協働（同じ目的のために、対等の立場で協力して共に働くこと）で、持続可能な社会の創造には不可欠です。

生徒それぞれが学級や部活動の全員と仲良くすることは難しいことです。また、無理をして全員と仲良くする必要もありません。しかし、苦手な人や嫌いな人とも協力して物事に取り組みなければならないことは、学校生活の数多の場面であります。このような際に、自分の気持ちに折り合いをつけ、しっかり協力していくことは大切な学びです。

本来は「Society 5.0 の社会」の具体的な未来像について伝えたいところでしたが、コロナ禍の中、他者との関わりが限定的になり、人間関係づくりが苦手な生徒が少なくないことから、「協働」の意義を中心に講話を行いました。